

日本学術会議公開シンポジウム

「植物工場における 自動化・情報化技術の展望」

2010年 4月 27日 **Tue** 午後1時～5時
日本学術会議 講堂

参加無料

主催 日本学術会議 農学委員会・食料科学委員会合同
農業情報システム学分会

開会あいさつ:野口 伸(北海道大学大学院農学研究院教授, 日本学術会議会員
日本学術会議農業情報システム学分会委員長)

講

1)丸尾 達(千葉大学准教授, 日本学術会議農業情報システム学分会オブザーバ)
「日本型(アジア型)太陽光植物工場の開発と栽培上の課題について」
—トマトの低段密植周年栽培, 葉菜類の高効率周年栽培野の事例—

2)清水 浩(京都大学教授, 日本学術会議農業情報システム学分会オブザーバ)
「植物からの情報を利用した環境制御手法」

演

3)門田充司(岡山大学教授)
「植物工場におけるロボット化技術の現状」

4)鳥居 徹(東京大学教授)
「パラレルロボットの植物工場への応用(可能性)」

総合
討
論

コーディネータ

清水 浩(京都大学教授, 日本学術会議農業情報システム学分会オブザーバ)

仁科弘重(愛媛大学教授、日本学術会議農業情報システム学分会オブザーバ)

閉会あいさつ:古在豊樹(千葉大学環境健康フィールド科学センター教授
日本学術会議連携会員)

参加申込先 京都大学 農学研究科 地域環境科学専攻 hshimizu@kais.kyoto-u.ac.jp
清水 浩 宛 075-753-6163